

経 由
議 長


政務活動費交付請求書

令和 6年 5月 7日

四日市市長

会 派 名 フューチャー四日市

代表者氏名 村山 繁生



四日市市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第4条第1項の規定に基づき、
令和6年4月分政務活動費の交付を次のとおり請求します。

1 請 求 額 357,265円

2. 政務活動費の対象となる経費

区 分	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費	326,620円	4/24・25 東京
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	1,100円	書籍購入
要請・陳情活動費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	29,545円	コピーリース代、コピー代、 NHK 受信料（2か月分）
合 計	357,265円	

※概算払・前金払がある場合は、備考にその別を記載すること。

経 理 責 任 者


内 訳 明 細

R 6 年 4 月分 No. 1

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費		
研 修 費	46,660	24~25日 東京
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費		
合 計	46,660	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

第6号様式(第4条関係)

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	フューチャー四日市							
参加者氏名	村山 繁生							
用務先	東京							
実施日	令和6年4月24日 ~ 令和6年4月25日							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿 泊 料
4/24	四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円	2 日 (3,000 円/日)	甲地方 1 泊 (15,900 円/泊) 乙地方 泊 (14,900 円/泊)
	名古屋 ~ 東京	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		
4/25	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		
	名古屋 ~ 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				14,280 × 1 14,280 円	× 0 円	10,480 × 1 10,480 円	6,000 × 1 6,000 円	15,900 × 1 15,900 円
合 計				46,660				

※精算

	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿 泊 料
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

〔 調査研究、研修、要請・陳情活動、会議 〕 報告書

実施日時	令和 6 年 4 月 24日(水) 15時 30 分 ~ 16時 30 分
参加者氏名	村山繁生 竹野兼主 加納康樹 樋口龍馬 小田あけみ 後藤純子 伊世利子
用務先	参議院会館
対応者	参議院議員 田村まみ氏 厚生労働省 老健局 地域づくり推進室 室長補佐 岸 英二氏 厚生労働省 老健局 地域づくり推進室 事業係長 原 伊吹氏
目的・内容	2025年以降、少子化を背景に、医療・介護の専門職の担い手の確保は困難になる一方で、85歳以上の人口が増加し、介護予防・日常生活支援総合事業や、介護サービスによる支援を必要とする高齢者が増加していく中で、総合事業を地域共生社会の実現のための基盤になるものと位置づけ、その充実を推進するため、検討中の施策の聴講を行った。
成果・所感	総合事業の充実とは、これまで『介護保険サービス事業者』主体だったものを、『多種多様な主体』の参入を促進し、医療・介護の専門職が専門性を発揮しながら、住民一人ひとりが自分らしく暮らし続けられる「地域共生社会」の実現や、地域の活性化を推進していかななくてはならない。そして、要支援者の支援の充実のみならず、高齢者が地域包括ケアシステムにおける自助・互助・共助・公助のつながりの中で、自身の力を発揮しつつ、自立した日常生活を送ることが出来る社会の実現に通じるのではないだろうか。しかしながら現実は厳しいと思うが。いずれにしても「第10期介護保険事業計画」での総合事業に向けては、国、都道府県、市町村がしっかりと連携しなければならないし、市町村が地域包括ケアシステムを構築した上で、地域住民や多様な主体とともに地域づくりを進めていく具体的な手法を構築しなければならないと理解した。時間が足りないくらいの内容の濃い有意義な視察であった。

〔 調査研究、研修、要請・陳情活動、会議 〕 報告書

実施日時	令和 6年 4 月 25 日(木) 10時 00分 ~12時 00分
参加者氏名	村山繁生 竹野兼主 加納康樹 樋口龍馬 小田あけみ 後藤純子 伊世利子
用務先	東京ビッグサイト Japan IT Week【春】
対応者	株式会社 エスユーエス ソリューション事業本部 稲原 翔 株式会社 マネーフォワード ソリューション 営業部 佐坂 健斗
目的・内容	”IT技術はとどまるところを知らない。そこで、東京ビッグサイトにおいて国内最大のIT・DX分野を網羅する展示会が開催されることを知り、四日市市役所においてもICT戦略課を中心に様々な技術を導入し、働き方改革や業務の効率化に繋げるための参考にしたいと思い視察した。
	東京ビッグサイトにおいて[Japan IT Week] [Japan DX Week] [営業デジタルマーケティング] [EC店舗week]の4つのテーマで、900社が参加する日本最大の展示会が開催された。以下、私が注目した2件について報告します。 ①紙とハンコに代わり、オンライン上で契約締結を行うシステムで、1000件を超える契約書の一元管理が可能。ペーパーレス化によって、部署間連携もスムーズ。導入すれば、残業時間の減少など、かなりの業務効率化に寄与すると感じた。②メタバースVR Meetでは、複数名がアバターで参加し、様々なバーチャル空間活用や、四日市市独自のメタバースを構築すれば、受付の業務も可能になる。その他、翻訳AI・文書電子化など業務改革に繋がる展示が多数あり、とても参考になった。いずれにしても、市役所ICT戦略課の人材育成が重要であると思う。

内 訳 明 細

6 年 6 月分 No. 2

17 野 兼 主

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費		
研 修 費	¥ 46,660	24.25 視察。
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費		
合 計	¥ 46,660,-	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

第6号様式(第4条関係)

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	フューチャー四日市							
参加者氏名	竹野 兼主							
用務先	東京							
実施日	令和6年4月24日 ~ 令和6年4月25日							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿 泊 料
4/24	四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円	2 日 (3,000 円/日)	甲地方 1 泊 (15,900 円/泊)
	名古屋 ~ 東京	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		
4/25	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		乙地方 泊 (14,900 円/泊)
	名古屋 ~ 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				14,280 × 1 14,280 円	× 0 円	10,480 × 1 10,480 円	6,000 × 1 6,000 円	15,900 × 1 15,900 円
合 計				46,660				

※精算

	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿 泊 料
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和6年5月 2 日

実施日時	令和6年4月24日（水）12時00分～13時30分、15時30分～16時30分 令和6年4月25日（木）10時30分～12時00分
参加者氏名	竹野兼主・村山繁生・樋口龍馬・加納康樹・小田あけみ・後藤純子 伊世利子
用務先	24日・東京事務所・参議院会館 25日・ビッグサイト
対応者	24日・嶋田東京事務所長・参議院議員・田村まみ・厚生労働省職員2名 名刺添付 25日 Japan・IT・Week 春
目的・内容	24日12時より都市センタービルにおいて、一期生の伊世利子議員と本市の出先機関である東京事務所を訪ね仕事内容について説明を受けた。その後15時30分より参議院会館に田村まみ議員を訪ね厚生労働省より老健局認知症施策・地域介護推進課地域づくり推進室の室長補佐岸英二氏と地域包括ケア推進係長原伊吹氏から介護予防・日常生活支援総合事業の充実に向けた検討会における議論の中間整理について説明を受けた。25日はビッグサイトにおいて Japan・IT・Week に出店している様々な企業があり、行政の働き方改革につながる ICT を利用する企業を探して管内を調査した。公共施設の運営や提案に対して委託されている企業もあり本市の弱点解消になる企業を模索調査が必要であると感じた。
成果・書簡	国が示す高齢者対策の総合事業について、事業内容については市町村に委任されており各自治体において独自性を持って計画に位置付けた政策が行われている。ただ本市においての総合事業Bでは独自性に乏しくもっと対象高齢者が必要と考えるサービスの提案が必要であると感じた。どのような意見聴取が行えるかさらに検討すべきだと思う。 ビッグサイトでは本市が5月12日に開始する防災教育センターにとりいれたバーチャルリアリティを利用した教育機器について今後の課題がないかチェックするための現場を視察した。

資料別添付

内訳明細

令和 6 年 4 月分 No. 3

区分	金額	内容
調査研究費		
研修費	46,660	24日～25日東京
資料作成費		
資料購入費	1,100	書籍（豊かな部落史の学びのために）
要請・陳情活動費		
会議費		
広報費		
広聴費		
人件費		
事務費		
合計	47760	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

第6号様式(第4条関係)

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	フューチャー四日市							
参加者氏名	加納 康樹							
用務先	東京							
実施日	令和6年4月24日 ~ 令和6年4月25日							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿泊料
4/24	四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円	2 日 (3,000 円/日)	甲地方 1 泊 (15,900 円/泊) 乙地方 泊 (14,900 円/泊)
	名古屋 ~ 東京	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		
4/25	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		
	名古屋 ~ 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				14,280 × 1 14,280 円	× 0 円	10,480 × 1 10,480 円	6,000 × 1 6,000 円	15,900 × 1 15,900 円
合 計				46,660				

※精算

	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿 泊 料
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

〔 調査研究、研修、要請・陳情活動、会議 〕 報告書

実施日時	令和 6 年 4 月 24 日(水) 15:30 ~ 16:30
参加者氏名	加納康樹(フューチャー四日市会派視察)
用務先	東京・参議院会館 B108会議室 (介護関連施策について)
対応者	参議院議員 田村まみ 氏 厚生労働省 老健局認知症施策・地域介護推進課長補佐 岸 英二 氏 厚生労働省 老健局認知症施策・地域介護推進課長係長 原 伊吹 氏
目的・内容	四日市市としての特色とも言える、介護における地域包括支援センターと在宅介護支援センターであるが、近年はその矛盾や非効率性を指摘する向きもある。 そこで、現時点での国(厚生労働省)の方向性を確認するための視察を設定した。 今回の視察においては、田村まみ参議院議員の事務所を通じて担当課とのレク設定を行ってもらったものである。
成果・所感	岸氏から、介護予防・日常生活支援総合事業の充実に向けた検討会の中間整理及び議論の内容についての説明を受けた。 厚生労働省としても、現状の総合事業をより充実させたいとの意向であり、介護予防施策を地域(市町)ならでは、地域のだからこそ出来る体制へ移行したいとのことであった。 今までの介護保険サービス事業者が主体のものから、多様な主体の参画を促し、第10期の計画には盛り込めるように議論が進展していることを知り得た。 今後の四日市市としての方向性・議論においても、大いに参考になった。

〔 調査研究、研修、要請・陳情活動、会議 〕 報告書

実施日時	令和 6 年 4 月 25 日(木) 11:00 ~ 15:00
参加者氏名	加納康樹(フューチャー四日市会派視察)
用務先	東京・東京ビッグサイト (Japan IT Week 春 視察)
対応者	REALITY XR cloud(株) 代表取締役社長 春山 一也 氏 (株)ソフトクリエイト 事業推進本部 製品開発部長 畠山 寛 氏 ほか
目的・内容	Japan IT Week は、ソフトウェア&アプリ開発展、営業DX EXPO、組込み/エッジ コンピューティング展、IT運用管理&データセンター EXPO、情報セキュリティ EXPO、デジタルマーケティング EXPO、クラウド業務改革EXPO、IoT ソリューション展、次世代EC&店舗EXPO、AI・業務自動化展、メタバース活用 EXPO、そして新規のデータドリブン経営 EXPOの12の専門展から構成されている日本最大級のIT展示会とのことで視察を行った。
成果・所感	まず、春山氏の「理想郷ではないメタバース、企業・自治体の実践活用法」と題してのセミナーを聴講した。テクノロジー市場の幻滅期に移行していると言われ始めているメタバースは、この数年で様々な事例が世の中に誕生したが、幻滅期でも生き残ってきた活用法は一体何があるのかについて、実際に企業や自治体がこれからでもメタバースを手段として、実践して活用できる方法事例の紹介があった。 畠山氏からは「ここから始める安全・簡単生成AI ～企業導入と活用事例～」と題してのセミナーを聴講した。今や業務効率化に生成AIの利活用は必要不可欠となりつつあり、今更聞けない「生成AIって何？」という所から、企業において安全・簡単に生成AIを利活用する事例の紹介や利活用デモも行われていた。 同時開催展もあり、自治体の宣伝・PRや業務のDX化に役立つ最新XR・メタバース技術も垣間見れ、有意義な視察となった。

領 収 書
金 1,100 円

四日市市議会 フューチャー四日市 様

但し、書籍代「豊かな部落史の学びのために」として

@ 1,100円×1冊分

上記のとおり領収しました。

令和6年4月23日


上杉 聡 

内訳明細

2024 年 4 月分 No. 4

区分	金額	内容
調査研究費		
研修費	46660	会派視察
資料作成費		
資料購入費		
要請・陳情活動費		
会議費		
広報費		
広聴費		
人件費		
事務費		
合計	46660	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	フューチャー四日市							
参加者氏名	樋口 龍馬							
用務先	東京							
実施日	令和6年4月24日 ~ 令和6年4月25日							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿泊料
4/24	四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円	2 日 (3,000 円/日)	甲地方 1 泊 (15,900 円/泊) 乙地方 泊 (14,900 円/泊)
	名古屋 ~ 東京	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		
4/25	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		
	名古屋 ~ 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				14,280 × 1 14,280 円	× 0 円	10,480 × 1 10,480 円	6,000 × 1 6,000 円	15,900 × 1 15,900 円
合 計				46,660				

※精算

	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿 泊 料
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R6 年 5 月 7 日

実 施 日 時	令和6年 4月24日（水） 15時30分～16時30分
参 加 者 氏 名	村山繁生・後藤純子・加納康樹・竹野兼主・小田あけみ・伊世利子・樋口龍馬
用 務 先	参議院議員会館
対 応 者	厚生労働省 室長補佐 岸英二様
目 的 ・ 内 容	介護予防・日常生活支援総合事業の充実に向けた検討会における議論の中間整理について説明をうけ、理解を深め、もって市政に反映させることを目的とする。
成 果 ・ 所 感	厚生労働省の考え方としては地域を巻き込むことが必要であるという意識が非常に強いことがうかがい知れた。 その他、私は要支援から要介護に認定が改められた場合、支援が手厚くなるので良いことだと考えていたが資料中（概要④）から要介護になることで今まで受けていた支援が受けられない（環境の変化）に課題を感じているという説明を受け、自分の認識と厚労省との認識に差があることを知ることができた。 また、早期の予防支援が必要だと考えるが介護保険を使っていること、そもそもの認定がむづかしいところも本制度を早期予防と関連付けることの障害を改めて感じた。 質問を通じて厚生労働省は本制度を ①アクティブシニアがかかわる住民主体のサービスBをイメージしている。 ②地縁組織に頼る形状を意識していない。 ③シルバー人材センターとの区別が分かりづらいところもありサービスBが養成するボランティアがシルバーから仕事を奪っているという話も現場からは聞かれるが、シルバーは家の中まで入る仕事は少ないと認識しており、たいしてサービスBは家の中まで入り込む仕事が多い、奉仕のマインドは均一的だと思う。 ④今後はシルバー人材センター×総合事業サービスB×アクティブシニア×労協に期待したい。 ⑤将来的には総合事業をAやBと区別する必要はないのではないかと などの所見を聞くことができた。私としてはサービスBが手弁当ではなく一定の収益事業の位置づけになれば制度的に続かないと考えていることから、持続可能な支援施策の提案や構築ができるよう公的支援と受益者負担のバランスについてさらに研究をしていきたい。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R6 年 5 月 7 日

実施日時	令和6年 4月25日（木）/0 時00分～/6時00分
参加者氏名	村山繁生・後藤純子・加納康樹・竹野兼主・小田あけみ・伊世利子・樋口龍馬
用務先	Japan IT Week
対応者	各ブースご担当
目的・内容	AIの活用をはじめとしたさらなるDX化の最先端について見聞し今後の政策に活かす
成果・所感	久しぶりのJapan IT Weekだったが前回訪れた時と比較し改めて技術の日進月歩を大いに感じる機会となった。前はAIという単語が会場を席巻していたが今回はAIと並び具体的にchatGTPを扱うブースがかなり多かったこと、またローコード、ノーコードという文字がまさに踊っていたのが印象的であった。プログラムコードを抑える時代が去りキントーンのようなプラットフォームがより拡がっていることの証左といえる。 今回の展示において特に注目したブースについて2つ紹介したい。 1つ目はセキュアなchatGTP環境の構築について提案しているブース。 四日市市議会の一般質問等でも取り上げられる生成型AIの利用とセキュリティについて、という部分に注目したサービスを紹介していた。手法としては簡単で、プロンプトを用いて「AIに情報を参照する」という仕組みである。これによりプロンプトから得られる個人情報などを“AIが学習しない（できない）”ため情報流出が防げますよ、というものである。四日市市議会としてもWWW上の膨大なコンテンツからセキュアに情報を得る手段として導入を検討する必要があるのではないかと感じた。しかしながら個人情報などに配慮しつつプロンプトを作成できる議員にとってはもしかすると機能を請願するにとどめることになるかもしれないという懸念も同時にあるため、生成AIの機能をフルに活用できる議員、セキュアに利用したい議員、両方の環境を準備する必要があるのかもしれない。 2つ目はAIを用いた議事録作成ツールである。癖の学習や菜の差し込み、メモ機能、など、機能としては多少便利になった程度だがコストが下がっている印象が大きい。 必要機能とコストを確認し随時見直す必要があると考える。 やはりこういった展示会は時折足を運んで新しい情報を得続ける必要があると強く感じた。

内 訳 明 細

R6年 4月分 No. 5

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費		
研 修 費	46,660円	4/24・25 東京
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費		
合 計	46,660円	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

第6号様式(第4条関係)

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	フューチャー四日市							
参加者氏名	小田 あけみ							
用務先	東京							
実施日	令和6年4月24日 ~ 令和6年4月25日							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特別料金	特・急料	日当	宿泊料
4/24	四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円	2 日 (3,000 円/日)	甲地方
	名古屋 ~ 東京	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		1 泊
4/25	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		(15,900 円/泊)
	名古屋 ~ 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円		乙地方
	~	KM		円	円	円		泊
	~	KM		円	円	円		(14,900 円/泊)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				14,280 × 1 14,280 円	× 0 円	10,480 × 1 10,480 円	6,000 × 1 6,000 円	15,900 × 1 15,900 円
合 計				46,660				

※精算

	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿 泊 料
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和6年 4月 24日

実施日時	令和6年 4月24日（水） 15時30分～ 16時30分
参加者氏名	村山繁生、加納康樹、樋口龍馬、伊世利子、竹野兼主、後藤純子、小田あけみ
用務先	参議院議員会館 B108会議室 〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目1-1
対応者	別紙参照
目的・内容	内容：介護予防・日常生活支援総合事業の充実に向けた検討会の中間整理及び議論の内容について、厚労省老健局の岸室長補佐から説明を受け、その後質疑応答があった。 目的：少子高齢化が進む現在、医療介護の専門職の担い手確保が困難となる一方で、高齢者は増加し続けている。そんな状況の中、国は市町村が中心となった総合事業で地域の力を組み合わせるという視点で、地域をデザインしていく取り組みをしていると聞き、現在の取り組み状況、何を目指しているのかを知り、本市における取組に活かしていくため。
成果・所感	成果：国が、現実的に今の制度のままではいずれ破綻してしまうという危機感を持って、新しい医療・介護の在り方をデザインしていこうとしているのが分かった。そのためには、地域の特性を生かして、お年寄り自身もアクティブシニアとして介護する側にも立つことで、総合事業を地方自治体がデザインしていく必要があることが分かった。 所感：介護保険事業は、変わらなければいけない時期を迎えていると感じた。お年寄りは増える一方なので、今の人口構造を見る限り、遅かれ早かれいずれ介護人材が不足するのは目に見えている。アクティブシニアを活用というのは合理的ではあるが、物価高騰などにより年金だけでは食べていけないため、以前に増して元気な働けるシニアがボランティアできなくなっている現状もある。介護政策だけでなく、年金制度も含めて、もっと日本経済全体としてこの問題をとらえなければ、解決することは難しいと感じた。

資料別添付

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和6年 4月 25日

実施日時	令和6年 4月25日（木） 10時30分～ 12時30分
参加者氏名	村山繁生、加納康樹、樋口龍馬、伊世利子、竹野兼主、後藤純子、小田あけみ
用務先	第33回 JAPAN IT WEEK 春 東京ビッグサイト 東展示館 〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1
対応者	フェンリル株式会社 マーケティングセンター 山岡 将哉 株式会社ジクウ 事業開発部 谷内 亮介
目的・内容	内容： Japan IT week春は、日本最大のIT・DX・デジタル分野を網羅する展示会であり、デジタルマーケティングや、ソフトウェア&アプリ開発、メタバース活用、情報セキュリティなど、12の分野に分かれて展示されており、目的に合わせて最新の情報が入手可能となっている。 目的： 情報分野の進歩は目覚ましく、少し前までは不可能であったことが可能となる時代である。本市におけるサービスにおいても、IT技術を駆使することにより、省力化、効率化を図ることが可能となり、そしてそのことが市民にとっての利益となると考え、最新の情報技術を学び、本市における導入の可能性を探るため。
成果・所感	成果： アプリ開発やメタバースの専門家から話を聞き、開発のきっかけはやはり顧客からの「こんなことが出来ないのか？」という問いから始まり、技術者と顧客が何度も会合を重ねて形になっていくことが分かった。やはり、困りごとがまずあって、それを解決するためにIT技術が使えるかどうかを検討する必要があると思った。 所感： なんでもIT技術に丸投げするのではなく、まずは業務を精査し、どんな部分を解決すれば良いかを認識することが大切であると思った。この展示会は、会場も広く、様々な分野の専門家が集まり、ビジネスチャンスがうかがっていた。IT技術の進歩のすさまじさに驚くとともに、それでもやはり人が基本であり、何もかもコンピューターが解決してくれるわけではないことも感じた。また、インドやバングラディシュの企業も出店しており、アジアの国々が優秀なIT人材を輩出していることも分かった。IT技術の可能性は多岐にわたり、今後も注視していきたいと思った。

内 訳 明 細

令和6年4月分 No. 6

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費		
研 修 費	46,660	
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費		
合 計	46,660	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

第6号様式(第4条関係)

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	フューチャー四日市							
参加者氏名	後藤 純子							
用務先	東京							
実施日	令和6年4月24日 ~ 令和6年4月25日							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特別料金	特・急料	日当	宿泊料
4/24	四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円	2 日 (3,000 円/日)	甲地方
	名古屋 ~ 東京	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		1 泊 (15,900 円/泊)
4/25	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		乙地方 泊 (14,900 円/泊)
	名古屋 ~ 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				14,280 × 1 14,280 円	× 0 円	10,480 × 1 10,480 円	6,000 × 1 6,000 円	15,900 × 1 15,900 円
合 計				46,660				

※精算

	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿 泊 料
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和6年4月26日

実施日時	令和6年 4月 24日（水） 15時30分～16時30分
参加者氏名	村山 繁生、加納 康樹、竹野 兼主、樋口 龍馬、小田 あけみ、 後藤 純子、伊世 利子
用務先	参議院議員会館 B108会議室
対応者	名刺別添
目的・内容	介護予防・日常生活支援総合事業の充実に向けた検討会の中間整理 及び議論の内容について厚生労働省から報告を受け、意見交換の機会 をいただいた。
成果・所感	総合事業の充実のための具体的な方策として高齢者が地域とつなが りながら自立した日常生活をおくるためのアクセス機会と選択肢の拡 大、地域の多様な主体が自己の活動の一環として総合事業に取り組み やすくなるための方策の拡充、高齢者の地域での自立した日常生活の 継続の視点に立った介護予防ケアマネジメントの手法の展開、地域で 必要となる支援を継続的に提供するための体制づくりが必要となって くる。意欲的に仕事や趣味の活動に取り組み、健康意識が高い活発な 高齢者であり、年齢を重ねてもいきいきと活動したいと考えるアクテ ィブシニアが総合事業の担い手になってもらい、自分の時間の一部を 地域コミュニティで活躍することで地域のみなさんも安心でき、担 い手側の満足度も上がっていく。本市でも総合事業にアクティブシニ ア世代が関わっていったらいいことが重要であると改めて実感した。

資料別添付

内 訳 明 細

6 年 4 月 分 No. 7

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費		
研 修 費	4 6 6 6 0	4.25 東京
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費		
合 計	4 6 6 6 0	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

第6号様式(第4条関係)

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	フューチャー四日市							
参加者氏名	伊世 利子							
用務先	東京							
実施日	令和6年4月24日 ~ 令和6年4月25日							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿泊料
4/24	四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円	2 日 (3,000 円/日)	甲地方 1 泊 (15,900 円/泊) 乙地方 泊 (14,900 円/泊)
	名古屋 ~ 東京	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		
4/25	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		
	名古屋 ~ 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				14,280 × 1 14,280 円	× 0 円	10,480 × 1 10,480 円	6,000 × 1 6,000 円	15,900 × 1 15,900 円
合 計				46,660				

※精算

	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿 泊 料
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 6 年 5 月 2 日

実施日時	令和 6 年 4 月 24日（水）15時30分～16時30分
参加者氏名	フューチャー四日市 伊世 利子
用務先	参議院会館会議室
対応者	田村まみ 参議院議員 ・ 厚生労働省老健局 岸英二様・原伊吹様
目的・内容	介護予防・日常生活支援総合事業の内容の話。高齢者がし見慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように地域で安心して暮らし続けることができるように地域全体で支え、また身体機能だけでなく、高齢者自身のもつ能力を最大限に生かす活動などを社会参加により介護予防につなげる取り組み。
成果・所感	高齢社会の中で2000年から介護保険制度ができている。要支援Ⅰ、Ⅱの人とそれ相当の方を中心に平成26年度から総合事業で市町村事業を進めている。介護が必要になっても地域の中で住民が住み続けられるようにしたいと住民主体で支える。期の資源を活かして市町村独自で仕組みを作っていくことも可能である。 制度が数年たって地域のオリジナルが進んでいないのではないか？ 宇郷事業を充実していきたいと検討会を1年前にもしているが、先を

見据えて拡大できるように進めていきたい。

団塊の世代が75歳になり、介護保険を利用する年齢は80歳代からである。まさにこれからで、介護人材、サービス提供者が少なくなっている現状で、高齢者が地域で生活する生き方を選択することが可能か？と考える。地域の皆さんと行政、専門職が共同で行い、すべての力を総合事業に取り込んで地域暮らしを支えて、高齢者のできるところを取り入れて力を合わせていくことが求められる。

ライフステージでは要介護度も進行し介護事業所のサービスが主になる。地域、行政、民間事業所が目指しているものは、元気なうちから介護予防に力を入れて総合事業に引き込んでいく。高齢者が活動で着てフレイル予防をして、自分らしく暮らす地域共生社会となる。事業所の力を合わせて地域で提供し、専門職が緩やかに関わって、水際作戦として行っていく。

一人一人の生活の支援、地域で暮らしたいを選べることが最優先。

要介護1, 2, 3の方々の在宅を支える為には介護人材が大事で体制を意識していく必要がある。

総合事業は地域でつくっていくものである。独自性を出して提供する。要介護になった場合はどのようにするか？要介護になっても専門職のサービスを取り入れながら総合事業を併用していけるとよい。

総合事業をわかりやすく伝えて、目的を共有できたら良い。

都道府県、国とつながる情報交換をするプラットフォームを作るとよい。支えあいの中で総合事業での位置付け、介護予防通所介護、市町村のオリジナルでどこまでできるのか？問題は多い。住民団体でどこまでできるのか？要介護になったらどうするのか？どんなイメージで進めていくのか？現在の住民主体の担い手がいなくなっている。

地域コミュニティを次世代のことも考慮してサービスBの本質を意識づけて、今後メインになってくるシニア世代のセカンドキャリアで参入するときにお金が問題になる。コスト意識は大事。元気な高齢者は支えてとして考えていく。シルバー人材センターと総合事業とどう分けていくのか？その人が自分は何をしたいのか、これまでのキャリアを活かして行えるところで活かせることが大事。就労活動がある中で奪い合わない。これも市町村の考え方だが、地域限定でなくてもよい。これからのアクティブシニアの働き方を総合事業の中で活用していくとよい。地域性のことが疑問であったが、地域を超えてもいいとの意見は面期的であった。旗振りをして地域の担い手を発掘できる専門職がコーディネーターとなって総合事業が活用できれば三方よしではないかと考える。

四日市の中でも行政に提案しながら、総合事業が充実していくように働きかけていきたい。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 6 年 5 月 2 日

実 施 日 時	令和 6 年 4 月 2 5 日（木） 1 0 時 0 0 分～1 4 時 0 0 分
参 加 者 氏 名	フューチャー四日市 伊世 利子
用 務 先	東京ビックサイト
対 応 者	株式会社ネットリソースマネジメント
目 的 ・ 内 容	PCの利用歴から「働き方」を見える化するサービスについて 働くて不足からITの必要性について学ぶ。WORKS.REPORTとは、書き方レポートにより業務に関する課題を発見して「業務改革」することで企業や自治体DXとGXを推進する。 セキュリティに関する最新機器にふれて注意力を高くする。
成 果 ・ 所 感	活用のポイントは「見える化」によって課題解決のサイクルを生みだします。全体状況の把握、隠れ残業の発見正しい勤務の促進、改善アドバイス、新たな時間の創出、組織の業務内容を把握、無駄な働く方印刷の発見、改善確認、デジタル人材の創出、個人の業務内容の把握、不調者の発見、コミュニケーションの促進、DX/GXの促進 PCにインストールしてレポートを自動作成するので管理者と利用者の作業負担にならない、IT機器の活用が必須と思いました。

サイバーセキュリティの重要性は言われている。有用なコンテンツ研修で聞いたので今後活用していきたい。セキュリティ7つの習慣

1, ソフトウェアのアップデート最新の状態にする。

2, アンチウイルスを有効にする。

3, ID, パスワードを強くする

4, 身に覚えがないメールに注意

5, 投稿は誰から見られているか注意必要

6, バックアップをする

7, 万が一何か起きたときは早期に連絡相談する。

便利だが使用の仕方を間違えると事故につながると思う。

行政でも効率的に仕事ができ無駄がないようにしていきたい。

内 訳 明 細

R6年 4月分 No. 8

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費		
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	29,545円	コピーリース代、コピー代、 NHK受信料(2か月分)
合 計	29,545円	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

符号	お支払金額	お預り金額
6- 3-25 200	*10,000	A T M支払
6- 4-12 900	セムカツトウセ(キ)カイシ	*49,556
6- 4-22 200	*2,006	RL)リコー・ジヤパン(
6- 4-23 200	*20,790	リコー・リース(カ
6- 4-23 200	*440	A T M振込料
6- 4-26 200	*6,309	ニホンホウソクキョウカイ

義会フューチャー四日市 様

放送事業につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
受信料のご請求につきましては、下記の通り連絡申し上げます。

放送受信料 請求内容事前通知

005-7372-451 振替日 令和 6年 4月26日

額 (消費税を含みます)	ご請求期間
6,309円	令和 6年 4月~令和 6年 9月
574円	契約台数
地上契約	1
去 取扱金融機関 三十三銀行 四日市市役所内支店 1- ヨツカイジヤ* カイ フューチャ-ヨツカイ タ*化ヨ	

個人情報保護のため口座番号は下3桁のみ表示
日本放送協会
登録番号: T8011005000968

※先 (電話番号のかけ間違いのないようご注意ください。)

関係のお問い合わせ 0570-077-077
お届け(フリーダイヤル) 0120-151515
組についてのご照会 059-229-3001

※契約への変更のお届けはインターネットをぜひご利用ください。
www.nhk-cs.jp/jushinryo/(24時間いつでも簡単に手続きできます。)

※等をご使用の方で、フリーダイヤル等ご利用いただけない場合は、
-3786-5003をご利用ください。

NHK

**NHKから
適格請求書(インボイス)に
関するお知らせです**

※本邦は受信料を請求するものではありません

- Q 「請求内容事前通知」とはなんですか?**
- A** 受信料をご請求している事業者のみなさまに、「NHKの登録番号」と「ご請求させていただく受信料の消費税相当額」をお知らせする、インボイス制度に対応した書面です。従来の払込用紙(請求書)等とは別にお送りしています。
- ※これまで「NHK放送受信料「口座振替のお知らせ」」をお送りしていた事業者のみなさまにつきましては、今後、本書面を「口座振替のお知らせ」の代わりにさせていただきます。ご承知おきください。
- Q 支払いをした後にもインボイス制度に対応した書面は送付されますか?**
- A** お支払い確認後、1か月を目途に「お支払いいただいた受信料の消費税相当額」を記載した「支払内容通知」を別途お送りします。
- Q NHKのインボイス制度への対応について、もっと詳しく知りたい**
- A** インボイス制度についての詳しいご案内は、NHKホームページでご確認いただけます。こちらの二次元コードからアクセスしてください。



大河ドラマ

主演 吉高由里子

光る夜

(日)午後8時
(日)午後6時
(日)午後0時15分

※放送日時が変更になる場合があります。ご了承ください。

	符号	お支払金額	お預り金額	摘要
6- 3-25	200	*10,000	A T M支払	*19,565 105
6- 4-12	900	セ仏カットウヒ(キ)カイシ	*49,556	*69,121 105
6- 4-22	200	*2,006	R L)リコーシヤパン(	*67,115 105
6- 4-23	200	*20,790	リコーリースカ	*46,325 105
6- 4-23	200	*440	A T M振込料	*45,885 105

ご 請 求 書

(兼 振替予定金額のお知らせ)

RICOH

発行日 2024年 03月 29日 請求No. 24039170066

リコー・ジャパン株式会社 森田 正一

登録番号: T1010001110829

お問い合わせ 請求書お問い合わせ窓口

TEL: 0120-138-970

5072520 50715030

左記の通りご請求申し上げます。2024年03月31日締分
振替口座は左記の通りです。
2024年04月22日に左記金額を振替させていただきます。

振替口座は「記」の通りです。

2024年04月22日に左記金額を振替させていただきます。

振替 銀行
三十三

支店
四日市市役所内支店

種類 口座番号
普通 *****

お取引【田】
日

商 品 名	规格	单位	数量	单价	金额
107# 汽油	90#	升	100	6.80	680.00
柴油	20#	升	100	7.50	750.00
煤油	10#	升	100	6.50	650.00
电 费		度	100	0.50	50.00
水 费		吨	100	0.30	30.00
房租		元	100	1.00	100.00
电话		元	100	0.20	20.00
办公用品		元	100	0.10	10.00
交通费		元	100	0.10	10.00
伙食费		元	100	0.10	10.00
医药费		元	100	0.10	10.00
保险费		元	100	0.10	10.00
其他		元	100	0.10	10.00
合计			1000		1500.00

伝票No.

数 量

单 价

お買上金額

消費税金額

ご発注No.・備考

〔税抜〕

.26 IMC4510 ハ°フォー・マン・スチャージ”

734001

1,824

03/20 シメ

お買上金額 合計

(税込 2,006)

1,824

182

10%对象

(税込 2,006)

1,824

182

【お知らせ】お問合せの際は、請求書右上の請求Noをお伝え下さい。お振込の場合は手数料ご負担をお願い致します。手数料不要の口座引落もご用意しております。

裏面をご確認下さい。

毎度ご利用いただきありがとうございます。
ご利用の明細は下記のとおりです。なお操作が正しく
終了しなかった場合は、係までお問い合わせください。

☆☆金☆

お取引金額	¥20,790
お手数料	¥440

お取引後残高

お受取人 三菱UFJ銀行
三 大 当座 0149935
大 津 町 支 店
リコーリース(カ)様

ご依頼人
ヨツカイヂツキ"カイ フューチャーヨツカイ子様

電話番号 059-354-8257

取月年月日	取原店	機番	時刻	受付番号
060423	0105052	09	33	0002
銀行番号	支店番号	科目・口座番号		
015				
通番	0063	3	印明一	

三十三銀行

区分 L:リース C:クレジット R:レンタル P:パーソナルクレジット K:割賦 X:その他 S
種類 01:リース料金等 03:保守料金 04:合意解約金 05:物件代金 06:弁済金 07:その他

[illegible]

郵便はかき

10%対象額	20,790円	内税	1,890円
*****		**	
*****		**	
*****		**	
*****		**	
*****		**	